

第3学年 保健体育科学習指導案

生徒 3年A組 (男15名 女13名 計28名)
指導者 教諭 畑山 恒

1 単元名 球技 ネット型「バレーボール」

2 単元のねらい

○ポジションの役割に応じたボールや用具の操作によって、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートの空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。

3 「聞くこと・話すこと」の指導の工夫

3年A組の男子生徒は運動に対して非常に積極的に取り組み運動能力も高い生徒が多い。(新体力テストの結果は下表) 女子生徒はおとなしい生徒が多く、積極的に活動はしないが指示や助言は素直に受け入れようとする。男女が同じチームになって授業を進めたときは、初めお互いに遠慮するところがあったが、次第に男子が引っ張り、女子がついていくという形になってきた。

「聞くこと・話すこと」については、他とのかわり方がうまく作れないようであったが、体操の時の声掛けを意識的に大きな声にさせることや、チームの中で助言や教え合いをして練習やゲームを進めて行ったり、チームミーティングの話し合いの中で個人の課題、チームの課題を出し合って次時の目標を決めたりする中で力を高めていきたい。

※資料(新体力テスト総合評価)

	A	B	C	D	E
男子(15名)	4人(27%)	6人(40%)	4人(27%)	1人(7%)	0
女子(13名)	4人(31%)	2人(15%)	5人(38%)	2人(15%)	0

男子上体起こしと反復横跳び以外が全国平均以上

女子前屈のみが全国平均以上

4 単元の指導計画

指導の計画(全14時間) 本時5/14)

次	時	・主な学習活動	○「聞くこと・話すこと」に関わる活動
1	1	・オリエンテーション、試しのゲーム	・ルール学習
2	2	・個人技能の復習(パス)	○パスの技能の留意点の教え合い
	3	・個人技能の復習(サーブ・スパイク)	○ボールのとらえる位置の教え合い
3	4	・トス→スパイクの動きづくり	○トスの位置、ボールのとらえ方の教え合い
	5	・三段攻撃の動きづくり	○レシーブの仕方、トスの上げ方等周りからの声掛け
	6	・三段攻撃を意識したゲーム	○相手のサーブに対して指示の声
4	7	・相手の攻撃に対応する1(サーブレシーブのポジションのとりかた)	○指示の声掛け
	8	・相手の攻撃に対応する2(ブロックを含むネット際のプレー)	○指示の声掛け
5	9	チームの課題把握	○チームミーティングから課題を見つける
	10	チームの課題解決	○課題解決のための練習法の話合い
	11	まとめのゲーム(班対抗戦)	○ゲーム中の声掛け
	12		○チームミーティングから課題を見つける
	13		
6	14	学習のまとめ	

